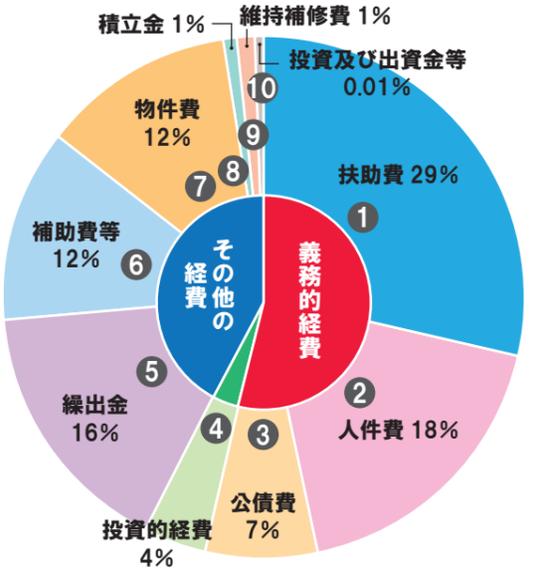
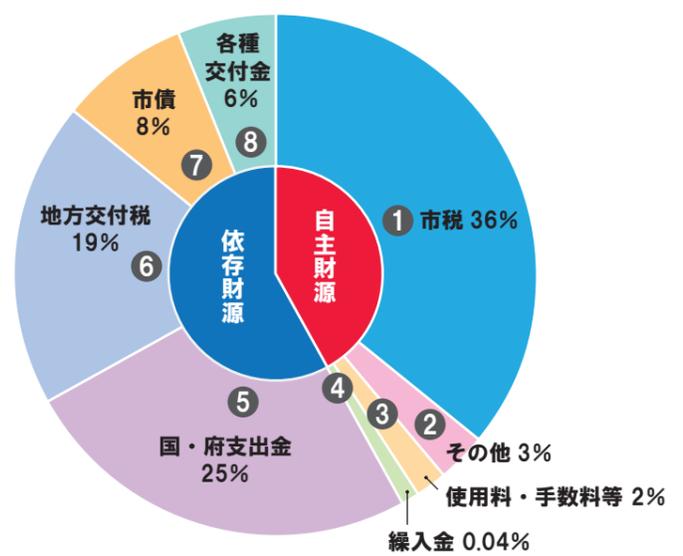


# 藤井寺市の現況

## 市の収入・支出をしてみよう（H30年度一般会計決算）

**歳入** 230億 3,835万円

**歳出** 226億 9,286万円



- 1 [市税] 83億9,157万円  
市民の皆さんから納めていただいた税金
- 2 [その他] 5億8,382万円  
寄附金や財産売却収入など
- 3 [使用料・手数料等] 5億7,183万円  
保育料や施設使用料など、負担いただいた収入
- 4 [繰入金] 932万円  
積み立てた基金を取り崩したお金
- 5 [国・府支出金] 58億2,931万円  
使い方が定められている国・府からの負担金・補助金
- 6 [地方交付税] 43億5,194万円  
使い方が定められていない国からの交付金
- 7 [市債] 18億7,100万円  
建設事業や施設整備などのために借りたお金
- 8 [各種交付金] 14億2,956万円  
使い方が定められていない国・府からの交付金など

- 1 [扶助費] 65億5,208万円  
保育、医療費助成、生活保護など福祉に使ったお金
- 2 [人件費] 41億9,107万円  
市職員の給料や議員報酬など
- 3 [公債費] 16億6,689万円  
市債の元金・利子や一時借入金の利子
- 4 [投資的経費] 7億9,796万円  
道路、庁舎など公共施設の新築・改修に使ったお金
- 5 [繰出金] 37億144万円  
下水道事業や介護保険などの他の会計への繰出金
- 6 [補助費等] 27億4,576万円  
負担金、補助金など
- 7 [物件費] 26億8,781万円  
光熱水費、消耗品費、業務委託料など
- 8 [積立金] 1億9,838万円  
将来の財源変動に備えて積み立てたお金
- 9 [維持補修費] 1億4,826万円  
道路、公共施設を維持するために必要なお金
- 10 [投資及び出資金等] 320万円  
福祉促進や地域振興のために貸したお金

※それぞれの項目で四捨五入しているため、集計が合わないところがあります。

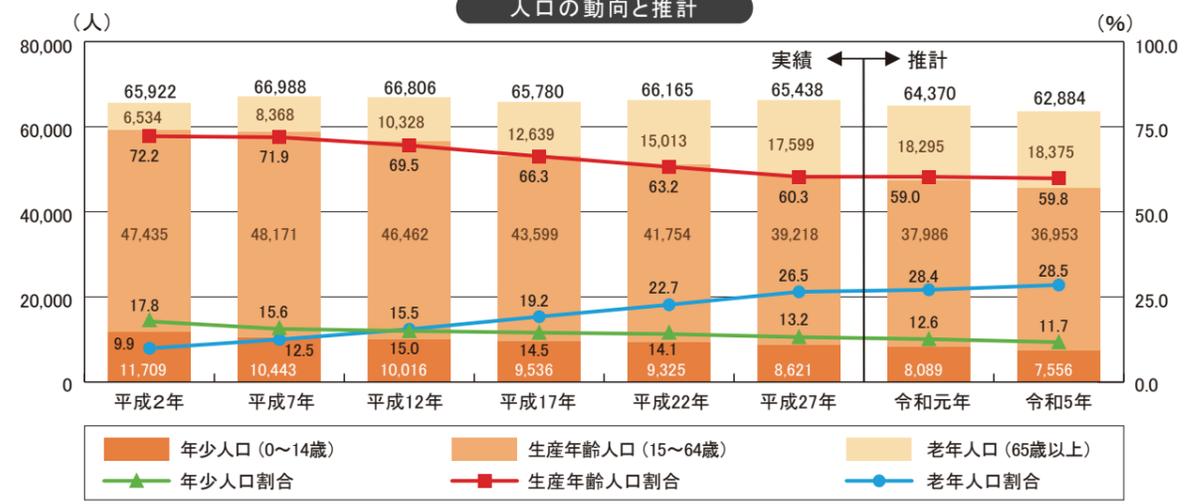
## 人口の状況と推計

令和元年度末人口 **64,370人**

令和5年度末人口 **62,884人**

●本市の人口は、平成7年の66,988人をピークにほぼ横ばいかやや減少の傾向を示しています。年齢3区分別にみると、年少人口(0~14歳)と生産年齢人口(15~64歳)はともに減少が続いており、老年人口(65歳以上)は増加し、全国的な傾向と同様、少子化・高齢化が進行しています。

●推計では、総人口の減少が予測され、令和5年では62,884人と、平成2年~平成22年を基点とした推計より、さらに人口減少が進むことが予測されます。



1ヶ月あたり

## まなりくん家の家計簿



市と家庭では使い道が違っているの単純に比較はできないけれど、藤井寺市の平成30年度決算額(一般会計)を家庭に例えて(5,000分の1)家計簿を作ってみました。

収入		支出	
自主財源	[市税] 1 給料	139,860円	36%
	[その他] 2 繰越金	9,730円	3%
	[使用料・手数料等] 3 パート収入	9,531円	2%
	[繰入金] 4 貯金の取り崩し	155円	0.04%
依存財源	[国・府支出金] 5 祖父母からの援助	97,155円	25%
	[地方交付税] 6 8 親からの援助	96,358円	25%
	[市債] 7 ローン(借入金)	31,183円	8%
義務的経費	[扶助費] 1 医療費など	109,201円	29%
	[人件費] 2 食費	69,851円	18%
	[公債費] 3 ローン返済	27,782円	7%
	[投資的経費] 4 家の増改築・新車購入	13,299円	4%
	[物件費] 6 7 光熱水費・日用品	90,560円	24%
	[補助費等]		
	[繰出金] 5 子どもへの仕送り	61,691円	16%
	[積立金] 8 貯金	3,306円	1%
	[維持補修費] 9 車などの修理	2,471円	1%
	[投資及び出資金等] 10 貸付など	53円	0.01%

収入の合計 **383,972円** (4,607,664円/年)

支出の合計 **378,214円** (4,538,568円/年)

(家族構成: 4人家族)  
本人・妻・娘・息子(下宿)  
(別居)父・母・祖父・祖母

## 市の財政に余裕はあるの? ~経常収支比率~



●通常毎年入ってくると考えられる収入で、通常毎年出ていくと考えられる支出をどの程度賅えているかという指標です。

●近年、この比率が100%を超え、経常的な収入で経常的な支出を賅えていないという厳しい財政状況を示しています。

【家計に例えると..】

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{生活の中で必ずかかる費用}}{\text{給料など 毎月必ず入るお金}}$$

↑ 高いほど余裕がない

### 課題1 まちの強み・機会を活かしたにぎわい・活気づくり

- 世界文化遺産に登録された「百舌鳥・古市古墳群」の適切な保全
- インバウンドへの対応や藤井寺らしい景観づくり、立地的な強みを活かして、交流人口のさらなる増加を図る
- 豊かな歴史文化資源やうまいおいしい住環境など、まちの誇りや魅力を内外へ発信

### 課題2 安全・安心に暮らしていくための取組の強化

- 近年は大規模な自然災害が頻発し、市民の災害への懸念が高まっている
- 防災・減災対策を進め、危機管理体制を強化し、災害に強いまちづくりの推進
- 災害時における地域での助け合いや、消防団や地区自主防災組織との連携など、自助・共助・公助の取組の強化

### 課題3 人口減少、少子化・高齢化の影響への対応

- 高齢者の見守りや支え合い活動、セーフティネットの構築
- 健康づくりや介護予防、医療や介護の連携、認知症対策など、高齢者が身近な地域で元気に暮らしていくための支援
- 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、子どもを安心して生み育てられる環境づくり

### 課題4 参画と協働によるまちづくり

- 多様化・高度化する市民ニーズに対応し、自主・自立のまちづくりを展開するためには、地域の担い手である市民や事業者の参画や協力が必要
- 市民がやりがいと責任をもって主体的に取り組むさまざまな活動を支援し、まちづくりの各分野で市民参画や協働を促進

### 課題5 持続可能な行財政運営に向けた対応

- 人口減少や少子高齢化等の進行を背景に、税収の減少や社会保障費の増大など、厳しい財政状況が見込まれるため、「選択と集中」により、将来にわたり安定した行財政運営を推進することが重要
- 今後の人口動向を見据えつつ、市民ニーズにも対応しながら、安定した行財政サービスを提供

#### 施策1

### 風通しの良い市政を市民目線で実行

#### ① 市民参加と協働

- ・ 市長や職員がまちに出て、タウンミーティングなど市民と話す機会を創出
- ・ 皆様とともに政策を決定する市民参加型行政の仕組みを構築

#### ② 「伝わる」情報の発信

- ・ 広報紙・ホームページのリニューアルや、SNSを積極的に活用し、分かりやすく「伝わる」情報を発信
- ・ 予算・決算の内容や事業内容の全面公開と透明化

#### ③ 徹底した行財政改革

- ・ 市長、副市長、教育長の給料20%カット、退職金ゼロをはじめ、徹底的な経費の見直し
- ・ 市役所のあらゆる業務に市民目線を取り入れ、意識改革を進め、市民サービスのさらなる向上
- ・ 市役所のスリム化や、縦割り行政・予算を見直し
- ・ 機能移転・統廃合・民間委託を含めた、市民が求める公共施設の最適化や老朽化対策を推進

#### 施策3

### 観光資源を活かして藤井寺にもっと活気を

#### ① 民間事業者と連携したにぎわいのまちづくりの推進

- ・ イオンショッピングセンターとの連携による地域活性化
- ・ 市民まつりの復活など「楽しむ・にぎわい・交流できる」イベントを市民とともに実施

#### ② 豊かな歴史文化資産を活かしたまちづくりの推進

- ・ 世界文化遺産登録を契機とし、アイセル シュラ ホールの観光拠点化など、まちの活性化を推進

#### ③ シティプロモーションの推進

- ・ 市長自らが先頭に立って藤井寺の魅力を発信
- ・ 職員全員がセールスマンとなり、テレビやラジオなどメディアを積極的に活用し、市をアピール

#### ④ 環境政策や都市環境の整備の推進

- ・ シェアサイクルの導入など二次交通の充実、空き家活用によるにぎわいづくりを検討
- ・ 道明寺駅周辺の再整備と道明寺駅へのJR乗り入れの早期実現や、来訪者のための道明寺観光案内所の創設を検討
- ・ 都市計画道路八尾富田林線の早期着工、企業誘致の促進による雇用の創出やまちの活性化

#### ⑤ 中小企業への支援、都市農業の維持発展

- ・ 中小企業の働き手の確保、雇用創出を支援
- ・ 時代にマッチした農業を進めるため、地域産品のブランド化や都市型貸農園を開設し、次世代農業者の育成・サポートを推進



#### 施策2

### 「子育てするなら藤井寺」と言われるまちへ

#### ① 待機児0ゼロ保育・幼児教育の充実

- ・ 時代のニーズに合った安全で快適な子育て施設の整備・充実、待機児童の解消
- ・ 保育士の待遇改善を進め、人員を確保し、安心で安定した保育環境を提供
- ・ 病児・病後児保育事業や産前・産後ケア事業の拡充

#### ② 子育て世帯への経済的・制度的支援

- ・ 保育料・学費・学校給食費・子どもの医療費など、子育て世帯の負担軽減への取組

#### ③ 学校教育の充実

- ・ グローバル社会に通用する英語教育をはじめ、質の高い授業と学習指導を実現
- ・ すべての小学校・中学校においてエアコンと洋式トイレを設置



#### 施策4

### 健康で生き生きと！元気なお年寄りをもっと

#### ① 高齢の方や障害のある方が健やかに暮らせる環境づくり

- ・ 高齢の方々が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括支援センター機能や見守り体制を強化
- ・ 介護予防・認知症ケア・在宅医療について、各団体と連携し、地域での支え合いの仕組み作りの推進
- ・ 市内民間企業やハローワークと連携し、障害者の雇用や就労支援など、誰もが働けるまちづくりの推進

#### ② 健康で生き生きした生活を送るための健康づくり施策の推進

- ・ 健康教室の充実や運動を促し、健康長寿を推進
- ・ 受診勧奨（コール・リコール）の実施や、健康マイレージの推進による、がん検診などの各健診受診率の向上



#### 施策5

### 危機管理をしっかり！安心の暮らしをみんなと

#### ① 危機管理の充実・強化

- ・ あらゆる危機事象に迅速に対応できる組織・体制を整備
- ・ 災害時の物資援助や避難場所確保など、民間企業との防災協定の促進や、災害マニュアル・ハザードマップの見直し
- ・ 鳥獣被害（野良猫、カラスなど）、パンデミック（インフルエンザ、感染症）への早期対応と情報発信

#### ② 自治会や自主防災組織の機能向上

- ・ 消防団活動、各地区の自主防災組織との連携など、自助・共助・公助の取組の強化

